

平成30年度

決

算

を

問

う



総括質疑

決算特別委員会

決算特別委員会では、9月19日・20日・24日・25日の4日間、22人の議員が決算全般について、質疑を行いました。

区内産業の活性化



自由民主党議員 内川 和久

問 中野駅周辺は最先端の業務拠点等へと変わっていくが、それをどう生かしていくのか

答 まち全体の価値向上、周辺地域への波及を推進する。

問 機能を集中しワンストップ化で利便性を向上させては

答 機能、施設等、検討する。

健康長寿社会の実現

問 特定健診受診率向上のため、乳幼児健診時に、保護者にパンフレットを配付しては

答 今後検討していきたい。

問 就学前までとしているインフルエンザワクチン予防接種助成の年齢拡大を考えては

答 医師会と情報共有しながら検討したい。

休日当番医療機関の近隣の薬局も休日当番薬局とし、委託事業に取り組みべきでは



公明党議員 白井 ひでふみ

平成30年度決算と財政運営

問 30年度決算は財政指標等の数値から健全性が保たれ、堅調とさえいえる。他方、基本構想改定に際し、将来人口・構成や10年後の財政見通しが示され、人口動向から経常経費が大幅に増加する厳しい推計値が初めて示された。堅調である間にこそ積極的に将来負担を削減すべきでは

答 緊張感を持ち、安定した持続可能な財政運営を行うため、今後しっかりと検討する。

問 SDGsに基づく基本構想・計画の改定であるべきと考える。区は取り入れていく

踏まえ、検討したい。

新たな基本構想・基本計画

問 今年度協定を結ぶとのことだが、助産師会が活躍するためには、妊産婦や母子専用スペース等が必要であり、場所の模索をしては

答 必要性を認識しており、協定締結と並行して、場所の確保を模索する。

問 衆議院選挙や23区でも記載しているところもある。総務省の通知を把握しているか

答 内容は把握している。



立憲民主党・無所属議員 中村 延子

税制改革による区財政の影響

問 収納率は、5年間で0.9%向上したが、ふるさと納税約11億、消費税10%の場合法人住民税の一部国税化と地方消費税交付金の清算基準で約65億円が理不尽な税制改正で入ってこない。政治的な判断ではあるが、区の考えは

答 都と区が丸で、議会と連携し、国に改善を求める。

問 外国人の日本語教育と支援

答 日本語指導員は1人につき60時間の制限があり、「あいうえお」だけで終わることも

ある。時間を増やしては

答 日本語やアルファベットが読めない児童・生徒が増えており、前向きに検討する。

問 日本に来たばかりの子を対象に集中日程を導入しては

答 言葉がわからない環境では、授業もわからず、不安な生活を送ることもある。児童・生徒の増加を視野に入れ、方法を研究したい。



公明党議員 白井 ひでふみ

胃がん検診

問 国が推奨する内視鏡検査を導入すべきでは

答 必要な課題を整理し、導入に向け、検討を行う。

問 内視鏡検査は、検査と治療を同時に行える。検討すべきと考えるがどうか

答 情報収集するとともに、対応について検討する。

学校教育・校舎の改築

問 生徒の英検受験料を支援すべきと求めてきたが、現在の検討状況を伺う

答 関係団体と意見交換を行うつつ適切な方策を検討する。

環境・防災対策

問 太陽光発電と蓄電池、電気自動車との組み合わせ等に支援制度を構築すべきでは

答 普及に効果的な助成制度の在り方の検討を進めている。

問 緊急情報電話伝達システムの使用対象者に、高齢者や障害者を加えては

答 関係団体と意見交換を行うつつ適切な方策を検討する。

建設委員会視察報告



10月23日(水)から10月24日(木)に、青森県八戸市の「YSアリーナ八戸」及び「フラットアリーナ」についてと宮城県仙台市の「せんだいリノベーションまちづくり」について視察しました。写真は八戸市「YSアリーナ八戸」での様子です。